

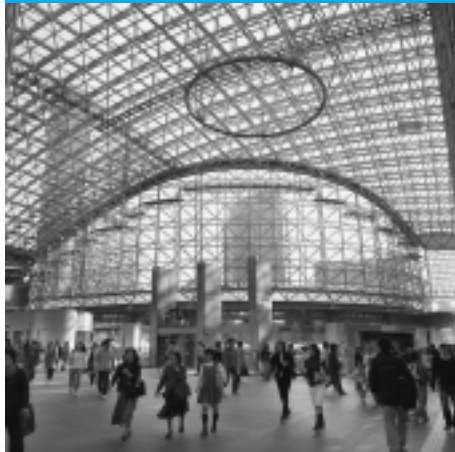
Governor's Monthly Letter

August, 2009

Rotary International District 2610



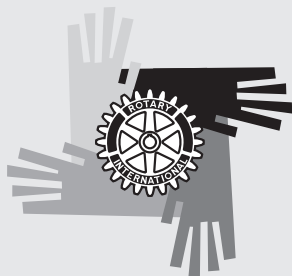
2



金沢駅もてなしドーム

写真提供：金沢市

2009 - 2010年度 国際ロータリーのテーマ



THE FUTURE OF ROTARY
IS IN YOUR HANDS

ロータリーの未来は
あなたの手の中に

2009 - 2010 2610地区ガバナー方針

楽しみながら人間を磨こう

POLISH YOURSELF WITH JOY

クラブ統廃合を考えてみよう

私はロータリーの将来の姿の一つとして、クラブの統廃合と会費等の削減を図ることは避けて通れないものと思っています。

わが2610地区のロータリアンは12年前の1997年、約3360人を数えたのをピークに毎年減り続けています。

明らかに経済不況が影を落としいているからでしょうが、とすれば会員数はまだまだ減っていくかも知れません。この間、各年度のガバナーや役員達は大変な努力を重ね、RIも金科玉条の如く会員増強を強調し続けて来たのということです。

私は現在の2820人の会員数は過去のバブル時代の栄華がはがれ落ちて“核”が残つつある。これがまともなロータリーの姿ではないかと思っています。それにしても、国内の人口の減少、過疎化の波もいや応無しにわが地区にも押し寄せ、会員十人前後のクラブは明日の存続すら危ぶまれてきています。

東京のある地区では、古参ながら小規模クラブに対し、隣接のクラブが合同例会を持ち掛け、これをきっかけとして三年後に統合したと聞きました。

勿論、小なりといえどクラブにはそれぞれの歴史と誇りがあり、近隣クラブに対する対抗心もあるかと思えます。しかしクラブが財政的にも追い込まれ、事業展開もままならず、若者が入って来ないとなっては、じり貧ということにしかありません。

クラブ会費についても同じようなことが言えます。好況時代の“それ行けドンドン”の気分で決まった金額が固定されていませんか。外部にはデフレや価格破壊が横行しているのに。

以上のことは、これまでタブーとして見られて来ました。しかし今、自民党政府の中には核武装についてすら議論しようという風潮が生まれてきています。明日のロータリーに向けてタブーは取り除いて行きましょう。

国際ロータリー第2610地区2009-2010年度ガバナー

中川可雄作



今月は会員拡大増強月間です。

■ 会員拡大増強月間に寄せて



会員拡大増強委員会
委員長

中川 哲次
(金沢南RC)

スローガン「あの人のいるロータリーへ入りあの人のようになりたい。」

本年度のスローガンを、入会する側の視点から作ってみました。人間には「生きたい。知りたい。友人を作りたい。」という3つの本能を持っていると私は考えている。この3つを兼ね備えた組織はロータリーしかないと思う。私には之に勝るものがあるとは、寡聞にして未だよく知らないところである。

この入会を勧誘された人達は、ロータリーの事は判らないから会員達の平素からの言動から類推し、自分の本意を決定するに違いない。そこでこのスローガンが生きてくる所以でもある。実にこの1年多くの人が入会し、それを上廻る退会者で会員が減少してゆくのが現状である。このスローガンに悖ることなきよう自らの品性を高め、相互に刺激しあい以て古参会員の退会防止に尽力をすべきだ。

また1人ひとりの品性を高めるは、言うが易く行い難しの点もあるが、感動ある奉仕活動、倫理感を持った職業奉仕、温かい例会活動創りを中心に今一度私達の全体を再構築してゆくならば、入退会希望者には魅力ある会員とクラブに進化してゆくものと確信する。

いみじくも中川ガバナーは今年度の方針として、各クラブ1名の増員を挙げ、「楽しみながら人間を磨こう」を掲げている。当委員会のスローガンである「あの人のいるロータリーに入り、あの人のようになりたい。」とは、遠く深いところで繋がっているのも委員長としても心強い限りだ。

どうか会員増強とその維持拡大には、その職責にある人のみの活動としなくて頂きたい。

会員全員のロータリーへの熱い思いや誇りが、入会希望者への決意促進となり、形骸化しているとも思える例会や委員会などを、温かくして楽しいものに再構築する事が天寿退会までへの道となり退会防止に貢献する事になると思考するが、どうだろうか!!



会員増強小委員会
委員長

岡 能久
(金沢RC)

本年度のR.I.ジョン・ケニー会長は、「ロータリーの未来はあなたの手の中に」というスローガンを掲げ、ロータリークラブを質的にも量的にも世界一の会員組織に拡大を計るといっておられます。

また中川可能作2610地区ガバナーは、「ロータリーの宝は会員そのものである」と言われ、拡大活動については、1クラブあたり純増1名という手堅い要請をされています。

まず新会員を慎重に選ぶために資格ある会員候補者を特定し、ロータリークラブの恩典について強調して下さい。

- 1) 地域社会で同じような志を抱く人々との同胞関係、親睦、友情を育むことの大切さ
- 2) ビジネスの人脈づくりの重要な場であること
- 3) 国際的な奉仕団体に所属する機会の有意義さを、説明し、入会を勧めましょう。

新会員を慎重に選ぶことでクラブの会員維持率が高まると同時に、新会員の定着率も増すと考えます。

ロータリーの素晴らしさ、魅力を拡めてゆくように努めましょう。



会員維持小委員会
委員長

原 勉
(白山RC)

各事業と専門職務を代表する会員を1名に制限する規則が定められ(長年にわたりこの制限は大きく拡張)私が入会したときは、推薦していただいた方からそんな説明を受け、希望と奉仕の気持ちを抱き入会させていただきました。又、クラブと推薦していただいた方にご迷惑のかからぬ様、あらゆる行事にはほとんど出席してきましたが、最近では例会出席も平然と怠っている会員の方も見受けられるように思われます。会費さえ払えばという会員 もう一度ロータリークラブを見直していただきたい。入会時の思い、緊張感を思い出してください。

今年度委員会のスローガン

あの人のいるロータリーに入り

あの人のようになりたい

是非とも、そんなロータリアンになりたいものです。

終わりになりますが、会員維持小委員会今年度も宜しくお願いいたします。

9月は新世代のための月間です。

国際ロータリー第2610地区
ホストクラブ 金沢ロータリークラブ

地区大会

大会テーマ 「いま改めて日本を学ぼう」

2009年10月3日(土)・4日(日)

ごあいさつ



2009 - 2010年度国際ロータリー第2610地区 地区大会実行委員長

富木 昭光(金沢RC)

本年度地区大会は、10月3日(土)・4日(日)の二日間にわたり、金沢RCがホストクラブとなり開催する運びとなりました。国際ロータリーのテーマ『ロータリーの未来はあなたの手の手に』を受けて、皆さまとたくさんの夢を語り合える大会を目指しております。

10月4日(日)、石川県立音楽堂コンサートホールにて開催予定の記念講演では200万部を超えるベストセラー「国家の品格」著者でいらっしやいます藤原正彦様をお招きし「日本のこれから」と題しまして、ご講演を頂く予定になっております。

開催まで大会実行委員会を中心に、入念な準備をし、おもてなしの心にて進めて参りたいと願っております。当日は多くのロータリアン及びご家族のご参加を頂きたく、我共金沢RC会員一同、心よりお待ちしております。

ロータリー講演・指導者育成セミナー

「ロータリーの未来」

10月3日(土) 14:15～



千 玄室 氏
(1923年生)

元国際ロータリー理事
ロータリー日本財団会長
日本・国連親善大使
茶道裏千家大宗匠

略 歴

同志社大学卒業後、ハワイ大学にて修学。昭和39年千利休居士15代家元を継承。裏千家今日庵主として宗室を襲名。平成14年12月、嫡男に家元を継承させ、千 玄室に改名。国際的な広い視野で、茶道文化の浸透・発展と世界平和をはかり、世界62カ国を300回以上歴訪し、「一盃からピースフルネスを」を提唱。文部省(現 文部科学省)社会教育審議会委員、中央教育審議会委員等、多くの公職を歴任。平成17年、外務省より日本・国連親善大使の称号を受ける。現在、ハワイ大学教授、財団法人日本国際連合協会会長、社団法人日本馬術連盟会長など、100以上の公職、役職を持つ。平成3年、外国人として初の論文審査による哲学博士号を中国・南開大学より授与される。また、平成20年、大学院生として博士課程を終え論文審査による2度目の博士号として、韓国・中央大学大学院より文学博士号を授与される。文化功労者国家顕彰、そして平成9年には茶道界で初めて文化勲章を受章。その他、フランス レジオン・ドヌール勲章オフィシエなど、国内外で多数の名誉市民、名誉博士号、世界各大学より15の名誉学位を受けている。

ロータリー歴

1954年	京都南ロータリークラブ入会	1998～2002年	ロータリー財団管理委員
1972～1973年度	京都ロータリークラブ会長	2002～2004年	2004年国際大会RI委員長
1975～1976年度	国際ロータリー第2650地区ガバナー	2003～	ロータリー日本財団会長
1988～1990年	国際ロータリー理事	2005年	国際ロータリー栄誉賞受賞

記念講演

「日本のこれから」

10月4日(日) 14:45～



藤原 正彦 氏
(1943年生)

理学博士・数学者・作家

略 歴

旧満州新京で、作家の新田次郎、藤原てい夫妻の次男として生まれる。東京大学理学部数学科大学院修士課程を修了後、コロラド大学助教授、お茶の水女子大学理学部数学科助教授などを経て、1988年から本年3月まで同大学教授を務めた。学究活動の傍ら、数学者の視点でアメリカへの留学体験を描いた紀行「若き数学者のアメリカ」が78年日本エッセイストクラブ賞を受賞し、以後、端正な文章とユーモアに満ちた独自のスタイルによる随筆が幅広い人気を博している。著書の中でしばしば「祖国愛」や「情緒」「武士道」の大切さを説いているが、2005年、そのエッセンスをまとめた「国家の品格」が200万部を超えるベストセラーとなり、翌06年の流行語大賞に選ばれた。主な著書に「遥かなるケンブリッジ」「数学者の休憩時間」「父の威厳 数学者の意地」「心は孤独な数学者」「この国のけじめ」など。



8月の行事予定

月日・曜日	行事予定	会場
8月1日 土	地区米山奨学生研修会	ウイング・ウイング高岡
8月2日 日	〃	〃
8月3日 月		
8月4日 火	輪島RC公式訪問	
8月5日 水	朝日RC公式訪問	
8月6日 木	羽咋・金沢百万石RC公式訪問	
8月7日 金	氷見中央RC公式訪問	
8月8日 土		
8月9日 日	地区ローターアクト委員会	新湊福祉会館
8月10日 月	新湊中央RC公式訪問	
8月11日 火	加賀白山RC公式訪問	
8月12日 水	野々市RC公式訪問	
8月13日 木		
8月14日 金	魚津RC公式訪問	
8月15日 土		
8月16日 日		
8月17日 月		
8月18日 火		
8月19日 水	中能登まほろばRC公式訪問	
8月20日 木	高岡RC公式訪問	
8月21日 金	能美RC公式訪問	
8月22日 土		
8月23日 日		
8月24日 月	高岡北RC公式訪問	
8月25日 火	七尾みなとRC公式訪問	
8月26日 水	河北RC公式訪問 インターアクトクラブ年次大会 インターアクターガバナー表彰	高岡向陵高等学校
8月27日 木	黒部中央RC公式訪問	
8月28日 金	七尾RC公式訪問	
8月29日 土	地区R財団委員長会議 (R財団セミナー)	石川県地場産業振興センター
8月30日 日		
8月31日 月	富山シティ RC公式訪問	

RCの活動が新聞で紹介されました!



2009.7.7 北國新聞 小松RC ↑

2009-2010年度ガバナー・エレクト決定

さきやま たけお
崎山 武夫君 (氷見RC)

職業分類：税理士



それともない組織が一部変更になりましたのでお知らせします。

ガバナーエレクト	崎山 武夫(氷見)
P.E.T.S実行委員会	氷見ロータリークラブ
地区協議会実行委員会	氷見中央ロータリークラブ
危機管理委員会 委員長	崎山 武夫(氷見)
地区財務委員会	島 正己(氷見)
	松木 延夫(氷見)
米山記念奨学会 評議員	崎山 武夫(氷見)
雑誌委員会	小堀 秀郎(氷見)
<地区組織について>	
※世界社会奉仕委員会 バナアツ小委員会設置	

ガバナー事務所スタッフ紹介 一年間宜しくお願いします



柴田 史郎
幹事



石森 良洋
副幹事



四十万谷 正久
副幹事



橋浦 宗一
副幹事



窪田 正宏
副幹事



近藤 勝則
副幹事



土屋 慎太郎
副幹事



野手 有二
副幹事



北村 彰英
副幹事



有田 隆子
事務局



国際ロータリー第2610地区 ガバナー事務所

2009-2010 Governor 中川可能作

〒920-0918 金沢市尾山町9-13 中小企業会館2階
TEL.076-236-2561 FAX.076-236-2562
E-mail:nakagawa@rotary2610.jp URL <http://www.rotary2610.jp>